

令和元年度（第2回）
福岡市総合図書館運営審議会

日時：令和2年3月27日（金）

15時00分～16時30分

場所：福岡市総合図書館 第2会議室

〔次第〕

1 開会

館長挨拶

2 議事

議題 令和2年度事業計画について

3 報告事項

報告 令和2年度予算及び機構について

4 閉会

令和2年度事業計画について

平成26年6月に策定した「福岡市総合図書館新ビジョン」の基本理念である「市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館」をめざし、魅力ある図書館づくりを推進する。

1 図書資料部門

(1) 図書資料の収集・整理・保存

総合図書館（本館）と各分館との緊密なネットワークを運営し、図書、逐次刊行物、新聞の収集について、一層の充実に努め、本館での基本資料の一元的保存を行う。

主な事業名	内 容	実施時期
資料収集の充実	公共図書館としての役割を發揮するため、図書館資料収集方針に基づき資料収集を行う。 また、子どもの読書活動を推進するため、絵本や紙芝居を含めた児童書や子育て支援に関する図書の充実に努める。	通 年

(2) 貸出・返却サービスの充実

交通不便等の理由により来館困難な利用者へのサービスの向上を図るため、市中心部、交通結節点など市内13カ所に図書返却ポスト等による返却可能な拠点を設置しており、福岡県立図書館とも相互返却サービスの提供を行うとともに有料宅配サービスを実施している。

主な事業名	内 容	実施時期
貸出・返却拠点等の新設検討	図書館利用者の利便性の向上を図るため、図書の貸出・返却拠点の新設を検討する。	通 年

(3) レファレンスサービスの充実

利用者から寄せられる質問・相談に対し、一般参考、人文科学、社会科学、自然科学、国際、国連などの所蔵資料やオンラインデータベース等の電子情報を活用して、レファレンスサービスの充実を図る。

主な事業名	内 容	実施時期
レファレンス協同データベース事業におけるレファレンス事例の提供	国立国会図書館が実施する同事業を通じて、総合図書館におけるレファレンス事例の中から選択したものを一般公開する。 (平成25年5月から実施)	通 年
レファレンス情報の提供	レファレンス事例を活用し、展示やイベント等を通じて情報提供を行う。また、ホームページでの提供方法を検討する。	通 年
国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料について、総合図書館が設置する端末から閲覧することができるサービスを提供する。 (平成26年1月から実施)	通 年
電子メールによるレファレンスサービスの提供	図書館サービスの充実と利便性の向上を図るため、電子メールにより、図書・文書・映像資料に関するレファレンスサービスを提供する。 (平成28年8月から実施)	通 年

(4) 情報提供の充実

本市関連部局及び国・県等関係機関と連携を図りながら、図書館資料を活用した情報提供などを行う。

主な事業名	内 容	実施時期
課題解決型支援	ビジネス支援として福岡県中小企業診断士協会と連携した「起業・経営相談会」を継続実施する。 (平成28年4月から実施) また、医療情報の提供を目的に九州がんセンターと協力してシリーズで開催している、がんに関する講演会を継続実施する。 (平成28年10月から実施)	[起業・経営相談会] 毎月第2・4日曜日 [講演会] 令和2年 第9回 5月30日

(5) 読書普及活動

読書活動ボランティア講座や講演会等を行う。

主な事業名	内 容	実施時期
読書活動 ボランティア講座 ・絵本の読み聞かせコース ・ストーリーテリングコース	地域における子どもの読書活動の支援として、地域で活動する読書ボランティアの育成と資質の向上を目指して実施する。	令和2年5月～ 令和3年2月
おはなし会	乳幼児から小学生を対象として絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、本への親しみと読書の楽しさを伝え、子どもが本とつながる機会を提供する。	毎週土、日曜日
赤ちゃん向け おはなし会	ブックスタート事業のフォローアップとして、0～2歳児と保護者を対象にわらべうたや絵本の読み聞かせを行い、絵本に親しみ、お話の楽しさを知り、読書へのきっかけづくりとなるよう機会を提供する。	毎月第2金曜日
布の絵本講習会	手づくり布の絵本の会と共催により、手づくり布の絵本作成の講習を実施する。 (平成13年度から実施)	令和2年 5月～7月、 9月～11月 (予定)
夏休み図書館の 達人講座	小学4～6年生を対象に、夏休みの自由研究にも役立つような図書館を利用した調べ学習の方法を学ぶ等、図書館利用に関する基本的知識の習得を図る。 (平成22年8月から実施)	令和2年8月 (予定)
福岡市ブックスタート事業「絵本ふれあいタイム」ボランティア研修	乳幼児の4ヶ月児健診の機会に赤ちゃんに絵本を手渡すブックスタート事業に関し、絵本の読み聞かせの楽しみ方や赤ちゃんとの遊び方等を説明、実演するボランティアの研修を実施するほか、絵本の選定についての助言を行う。 (平成16年度から実施)	令和2年9月 (予定)
大人向けイベント	成人を対象とした読書会や教養講座等を実施し、読書普及や図書館活用促進を図る。	各館での実施内容及び時期を検討中
企画展示	各部門においてテーマを設定し、テーマに沿った図書の展示やブックリストの配布などを行う。 なお、10月は図書館マンスとし、全館統一テーマを定め、各館・各部門において、サブテーマを設定し、図書の展示等を行う。	毎 月

(6) 子どもへの読書普及

子ども読書活動推進計画等に基づき、子どもへの読書普及を推進する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
モデル児童図書リストの配布	<p>子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安となるよう、各年齢層に応じた本を紹介したリストを毎年度発行、配布し、子どもの読書推進に寄与する。</p> <p>※モデル児童図書リストの配付状況 幼児用，小学1・2年生，小学3・4年生，小学5・6年生 を平成31年4月発行し、約4,500部を配付した。 (平成29年4月から発行形態を見直して実施)</p>	令和2年4月
子どもの貸出カード作成推進	<p>授業の一環として図書館見学など様々な場面で、来館する児童・生徒のうち、図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの事前登録を奨励する。</p>	通 年
ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化	<p>ヤングアダルトコーナーの設置や推薦図書に関するリストの配布などの事業を継続する。</p> <p>また、平成29年度より試験的に実施している市立高等学校を対象とした図書資料の調べ学習用に貸出する制度を本格実施し、ヤングアダルト層への図書館利用促進を図る。</p> <p>ビブリオバトルやTRPGなどヤングアダルト向けイベントを実施する。</p>	通 年

(7) 地域読書活動への支援

団体貸出サービスの充実を図り、公民館等の図書コーナー等の運営や環境整備への支援を推進する。

主な事業名	内 容	実施時期
団体貸出先の拡大	配本件数の増加に対応できるよう効率的な配本を行い、未登録の留守家庭子ども会、及び公民館文庫や、高齢者施設、病院等への団体貸出先の拡大を図る。 (平成27年4月から実施)	通 年
地域読書活動への支援	公民館等で子ども達など地域住民への読書普及活動を行う地域読書活動団体の活動状況やニーズを把握する。その上で、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言、講座やおはなし会の開催などの支援を行う。 また、団体貸出登録団体と公民館を対象とした交流会を開催し、実用的講座の開催や意見交換の実施など、活動への支援を行う。 (平成27年4月から実施)	通 年

(8) 各種図書館間協力ネットワークの構築

福岡都市圏図書館、県内公共図書館、大学図書館、専門図書館との相互協力ネットワークの推進を図る。

主な事業名	内 容	実施時期
福岡都市圏図書館等の広域利用	日常生活圏の広域化に伴い、福岡都市圏の図書館等は、図書の貸出対象の居住者要件を、当該市町村居住者から福岡都市圏全体の居住者に拡大しており、制度を継続する。 (平成13年4月から実施)	通 年
福岡県図書館協会の相互貸借	相互貸借の円滑化により図書館サービスの充実を図るため、福岡県内の公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館の4団体間で実施している相互貸借を継続する。 (平成18年11月から実施)	通 年
大学図書館とのネットワーク	大学図書館の資料を市民が利用できるようにするため、市内8大学と実施している相互貸借を継続する。 (平成13年3月から実施)	通 年

市関連施設の 図書室の相互協力	市関連施設の図書室の相互協力をし、利用者サービスの向上を図る。 市議会議員等の調査・研究を支援するため実施している議会図書室への図書資料の貸出を継続する。 (平成27年2月から実施)	通 年
--------------------	---	-----

(9) 学校図書館支援センター

各小中学校が、学校図書館を効果的に運用できるように、学校図書館関係者を対象とし、「情報」「ひと」「もの」の3点から支援を行う。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
学校図書館支援 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報・ひと・もの」による支援 情報： ホームページ等による情報提供など ひと： 学校図書館運営に関する相談業務、 計画及び要請訪問の実施など もの： 学習支援用図書の貸出、読書活動や 調べ学習に関する助言など ・学校図書館支援センター利用の手引きを作成し、 教員・学校司書への利用勧奨を行う。 ・「小学生読書リーダー養成講座」 市内小学5・6年生を対象として講座を実施し、 受講した児童を「小学生読書リーダー」に認定 することにより、各学校での読書活動推進につ なげる。 (平成27年4月から実施、例年6月実施) 	通 年

(10) 分館運営

分館では、生活に密着した情報、趣味、娯楽、読み物等の一般図書、児童図書を中心に資料を収集し、館内での閲覧や貸出を行うほか、おはなし会等の読書普及活動を行っている。

また、総合図書館と分館とのコンピューターネットワークにより資料情報を共有するとともに、資料の貸出や返却がどの図書館でもできるように、毎日連絡車を運行し、物流のネットワーク化を図っている。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
おはなし会	乳幼児から小学生を対象として絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、本への親しみと読書の楽しさを伝え、子どもが本とつながる機会を提供する。	毎週土曜日ほか

<p>赤ちゃん向け おはなし会</p>	<p>0～3歳児と保護者を対象にわらべうたや絵本の読み聞かせを行い、絵本に親しみ、お話の楽しさを知り、読書へのきっかけづくりとなるよう機会を提供する。</p>	<p>毎月第1水曜日 ほか（※月1～ 2回。各分館で 実施日は異なる。）</p>
<p>企画展示</p>	<p>各分館においてテーマを設定し、テーマに沿った図書の展示やブックリストの配布などを行う。 なお、10月は図書館マンスとし、全館統一テーマを定め、各館・各部門において、サブテーマを設定し、図書の展示等を行う。</p>	<p>毎 月</p>

2 文書資料部門

(1) 公文書等

① 公文書

完結後30年を経過した永年保存文書及び保存期間が満了した文書で歴史的文化的価値があるものを収集、整理、保存、閲覧に供する。

また、完結後20年を経過した永年保存文書で、保管の委託が適当であるものについては、受託する。

- ア 収 集 福岡市の各公文書規程に基づき行う。
- イ 整理・保存 資料保存のための燻蒸処理を行い、件名整理及び閲覧制限項目のチェック完了後、検索用目録の作成とマイクロフィルム撮影を行う。
- ウ 閲 覧 完結後30年を経過した公文書を、文書資料室において原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。
資料の館外貸出は本市職員に限り許可する。
- エ 展 示 歴史的公文書の展示を行い、市民の公文書への関心を高める。

主な事業名	内 容	実施時期
公文書資料目録の作成	平成30年度までに収集・整理した公文書の簿冊及び件名目録を検索用として作成するとともに、PDFファイルにてホームページに掲載する。	令和3年3月
歴史的公文書の展示	市の歴史的公文書の整理保存を行っていることの市民への周知を図るとともに、利用の促進を図るため、展示を行う。	令和2年6月
歴史的公文書のデジタルデータ化・情報提供の充実	収集・整理・保存した歴史的公文書等について、一部をデジタルデータ化するとともに、インターネットで情報提供するシステムの構築（文学情報提供システムの拡張）について検討する。	通 年

② 行政資料

主に本市各部局が発行する刊行物等を収集、整理・保存し、文書資料室に配架して閲覧に供する。

また、本市各部局で作成したビデオテープやDVDの閲覧提供を行う。

(2) 古文書資料

古代、中世、近世及び近現代の郷土福岡に関する歴史資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収 集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 燻蒸処理し、収集資料群毎の詳細調査・整理及び資料の補修等を行い、マイクロフィルム撮影をして、検索用目録を作成する。
- ③ 閲 覧 原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
古文書学講座	古代・中世・近世・近代の古文書学の基礎を学ぶ講座	令和2年9月 (全4回)
古文書資料目録26の発行	令和2年度までに収集した古文書資料の検索用目録を作成する。	令和3年3月
古文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	収集・整理した資料の一部をデジタルデータ化するとともに、インターネットで情報提供するシステムの構築（文学情報提供システムの拡張）について検討する。	通 年

(3) 郷土資料

近世までは筑前国、近代以降は福岡市を中心とする福岡県内の各分野の資料、及び九州・山口各県の地方史誌等を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収 集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。
貴重な資料についてはマイクロフィルム撮影をして、閲覧用の複製本を作成する。
- ③ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。
貴重資料については、マイクロフィルム又は複製本により閲覧に供する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
郷土・特別資料室内展示	郷土福岡に関する展示を実施	通 年

(4) 文学資料

福岡ゆかりの作家等に関する文学資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、実行委員会による文学振興事業等を実施する。

① 資料

- ア 収 集 購入、寄贈等による。
- イ 整理・保存 図書等の収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。
- ウ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。
貴重資料は、事前申請により職員立会のもと一部公開。
- エ 貸 出 福岡文学スペースに排架して貸出に供する。

② 文学館事業の実施

福岡ゆかりの文学に関する企画展・文学講座等の事業を実施し、市民の文学に関する生涯学習活動を支援する。

主な事業名	内 容	実施時期
常設展示	総合図書館1階ギャラリーで福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動を紹介する。	通 年 (企画展期間中を除く)
企画展	特に企画展では、文学振興事業実行委員会において企画展図録を作成し、販売。	令和2年 11月～12月頃 (年1回)
読書講座	九州ゆかりの文学をテキストにし、講師と受講者で作品についての意見交換をする。	令和2年11月～ 令和3年3月頃 (全3回)
文学講座	福岡ゆかりの文学者等による卓話会、講演等	5, 7, 9, 11, 2月
文学館倶楽部	福岡市文学館の館報として発行（無料配付）	令和2年10月 令和3年3月 (年2回)
インターネットによる情報提供システムの拡充	インターネットにより福岡ゆかりの文学に関する情報を、画像を含めて体系的に分かりやすく提供する。	随時

(5) レファレンス業務

郷土・特別資料室及び文書資料室（総合図書館2階）において、各資料に関するレファレンスを行う。

(6) 委員会等

- ① 福岡市総合図書館文書資料収集審査委員会
所管する文書資料収集の適正化を図るため、8名の委員により本年度1回開催予定。
- ② 福岡市文学館資料委員会
福岡市文学館資料の充実と有効活用を図るため、8名の委員により本年度2回開催予定。
- ③ 福岡市文学振興事業実行委員会
文学振興事業の企画と円滑な実施運営を図るため、6名の委員により本年度3回開催予定。

3 映像資料部門

(1) 映像資料の収集・保存

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
映像資料収集事業	(1) アジアフォーカス福岡国際映画祭参加作品 (2) 福岡に関する映画作品 (3) DVD等の映像資料 (4) その他映画関係資料	通 年

(2) 映像資料の調査・研究

国立映画アーカイブをはじめとする国内外の機関・施設と連携し、映画フィルムの収集、保存等について調査・研究を行う。

(3) 映像資料の公開及び展示等

- ① 映像ホール・シネラ(定員 246 席)で上映する。
- ② ミニシアター(定員 50 席)で上映する。
- ③ 映像資料の展示(ポスター展の開催など)を行う。

(4) 映像ホール・シネラの運営等

主に総合図書館と映像ホール・シネラ実行委員会等の共催で実施している。

図書館が収蔵している映画の上映や特別企画展・講演会等を実施することにより、市民の映画やアジアに関する理解が深まることを支援する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期	
通常上映	図書館が収蔵しているアジア映画等を上映する。	通 年	
特別企画事業	アジア映画祭事業	近年話題のアジア映画を上映する。	未 定 (年 1 回)
	映像創造事業	新しい才能の発見と育成がテーマの映画祭「ぴあフィルムフェスティバル」の入選作を上映する。	令和2年4月

特別企画事業	シネマテーク事業	日頃福岡で上映されない映画を積極的に取り上げ、俳優・監督などをテーマに特集を組み、多様な映画を紹介する。 5月は、70～80年代の日本映画を席卷した角川映画特集。	通 年
	講演会等	上映する映画に関する講演会等を開催する。	年 数 回

※6月以降の上映事業については、4月開催のシネラ実行委員会で決定。

(5) 委員会等

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会

福岡市総合図書館映像ホール・シネラでの上映会等を開催し、その運営を円滑に行うため、10名の委員により本年度1回開催予定。また上映作品の詳細や広報活動を検討する8名の委員によるプログラム部会を年1回開催。

(6) アジア映画の活用

主な事業名	内 容	実施時期
アジア映画等貸与事業	総合図書館で収蔵しているアジア映画等を広く活用するため、令和3年度から実施予定の公的施設等への貸与の準備等を行う。また、公民館等の公的施設での館外上映を実施する。	令和3年4月 令和2年度公民館等での上映実施時期は未定

4 図書館全体事業

(1) 新ビジョンの推進

項目	内容	実施時期
新ビジョンの推進	① 新ビジョン事業計画（R1～R5）の、令和元年度の取組についての点検評価を行う。 ② 新ビジョン事業計画（R1～R5）の推進。	令和2年8月頃に評価予定

(2) 指定管理者の管理運営業務に係るモニタリング

項目	内容	実施時期
年次評価（総合図書館）	総合図書館（建物管理等）における指定管理者の令和元年度管理運営業務について評価を行う。	令和2年7月頃に評価予定
年次評価（東図書館）	東図書館（選書を除く）における指定管理者の令和元年度管理運営業務について評価を行う。	令和2年7月頃に評価予定

(3) 効率的で効果的な図書館運営

項目	内容	実施時期
指定管理者制度の継続の準備	令和3年度から指定する総合図書館と東図書館の事業者を公募し指定管理者を選定する。 （指定期間：令和3年4月～令和8年3月）	令和2年秋頃に候補者を決定する予定

(4) 施設設備の更新

項目	内容	実施時期
総合図書館の施設設備等更新	総合図書館施設について、屋上防水や外壁改修、パッケージエアコン、直流電源工事等の更新工事を行う。	令和2年度中（時期未定）

(5) やすらぎと交流の場づくり

項目	内容	実施時期
指定管理者企画事業（総合図書館）	エントランスホールや正面玄関前広場等を活用し、節句祭、納涼祭、冬フェスタ等の季節イベントや、講座・教室等を実施する。	通年

(6) 見学・視察の受け入れ

項目	内容	実施時期
見学・視察の受入	小学校、中学校、高校、各種学校の他、自治体、図書館関連機関等からの要請に対し、受入を行う。	通年
バックヤードツアー	一般および親子を対象とした図書館の裏側を紹介するツアーを実施する。	令和2年11月～令和3年3月

(7) 市民との共働

項目	内容	実施時期
図書館ボランティア	市民活動の場を提供するためボランティアの募集・受入を行う。	令和2年4月に説明会を実施
インターンシップ	大学等からの要請に対し、インターンシップの受入を行う。	夏～秋

(8) 職員研修

項目	内容	実施時期
基礎研修	図書館各部門に共通する基本的な知識、ビジネスマナーや接遇、コンプライアンスなどの基礎知識についての研修を実施する。	年6回程度
専門研修	図書館職員として必要な専門知識や技術向上を目指した研修を実施する。	各部門で実施

(9) 危機管理対策

項目	内容	実施時期
防災基礎研修	防災対策及び消防設備等の基礎知識についての研修を実施する。	令和2年6月頃 (休館日実施)
災害時避難訓練	火事・地震を想定した避難誘導訓練と消火器及び屋内消火栓の実地訓練を行う。 また、消防局によるAED操作訓練を行う。	令和3年1月頃 (休館日実施)

(10) 財源確保に係る事業

項目	内容	実施時期
駐車場の有料化	休館日や閉館時間帯に駐車場を有料開放するなどして、財源確保を図る。	通年
ふくおか応援寄付	「ふくおか応援寄付」制度による寄付金により、財源確保を図る。	通年
新たな財源確保	デジタルサイネージや施設広告などの新たな財源確保を図る。	通年

5 広報活動

福岡市総合図書館を広く市民に利用してもらうため、各種媒体による広報を行う。

媒体名	内容	発行回	配布先／発行数
図書館要覧	他図書館、行政機関への当館の事業報告を目的とし、図書館各部門や分館の利用状況、事業実績、組織・予算などを掲載。	年1回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／300部
福岡市総合図書館ホームページ	情報提供を目的とし、利用案内、各種お知らせ、映像資料案内、図書館資料検索などの項目を設けている。	随時更新	
メールマガジン	イベント情報や各部門からのお知らせなどについてメールマガジンを配信。	月1回	メールマガジン登録者
各種ソーシャルメディア (Twitter や Facebook 等)	Twitter や Facebook 等のソーシャルメディアを活用し、新着情報やイベント情報などを配信。	随時配信	SNS登録者
こどもとしょかんニュース	こども図書館の利用拡大、読書普及を目的とし、おはなし会やテーマ別本展示のお知らせ、新刊本紹介を掲載。	年6回	福岡市関係施設・機関、市内の保育所、幼稚園、小学校等／各1,400部
ヤングアダルトブックリスト	中学生・高校生を対象として、読書普及及び図書館の利用拡大を目的に、お薦めの本を紹介する。	不定期	総合図書館等／600部
レファレンスだより	レファレンスサービスをアピールすることを目的に、レファレンス事例を主題別、部門毎に紹介している。また、夏休みは小中高生を対象にした特集号を別途発行している。	年12回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／300部
クンドルニュース	九州国連寄託図書館における国連資料の利用者拡大を目的に、国連資料などを紹介している。	年6回	福岡市の施設・機関、福岡県内公共図書館等／700部
シネラニュース	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載。	年11回	福岡市の施設・機関、マスコミ、定期購読者等／8,000部
ホームページ「うえぶシネラ」	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載。また、メールマガジンも配信。	月1回	
市政だより	図書館事業の市民への告知を目的とし、シネラ上映案内、おはなし会・講演会などを掲載。	月2回	福岡市内全世帯
文学館ホームページ	福岡ゆかりの文学に関する情報を画像を含めて体系的に分かりやすく掲載。	随時更新	

6 研究活動

図書館において調査・研究を行い，その成果を報告するため，研究紀要を発行する。

媒体名	内 容	発行回	配布先／発行数
研究紀要	収蔵資料に関する学術的な調査・研究の成果を報告することを目的に，図書館職員による研究論文，資料紹介，展示報告等を掲載する。	年1回	各県の主な公共図書館，文学館，文書館，歴史資料館等／450部

7 分館整備事業

令和3年11月に開館予定の早良南地域交流センター内に設置する図書館分館の開設準備等に着手する。

項 目	内 容	実施時期
早良南図書館開設準備	早良南図書館の開館に向けた準備として図書の購入，システム構築等に着手。(概要は別紙)	通 年
南図書館整備事業	南市民センターの大規模改修に伴う休館(令和3年3月~令和4年7月予定)による引越，保管等に着手。	未 定

早良南図書館について

1 早良南地域交流センターの概要

- (1) 所在地 福岡市早良区四箇田団地
- (2) 構造 地上3階建鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造, 鉄骨鉄筋コンクリート造)
- (3) 延床面積 約5,000㎡(うち図書館約665㎡:1階)
- (4) 施設内容 多目的ホール, 図書館, 大練習室, 小練習室, 大会議室, 小会議室等
- (5) 開館予定 令和3年11月(予定)

2 早良南図書館の設置について

(1) 経緯

総合図書館では, 市内各区に10分館を設置し, 図書サービスの充実を図っているが, 早良南地域交流センターが設置されることに伴い, 日常生活圏内でのさらなる図書館の利用を促進するため, 早良南地域交流センター内に図書館(分館)を設置するもの。

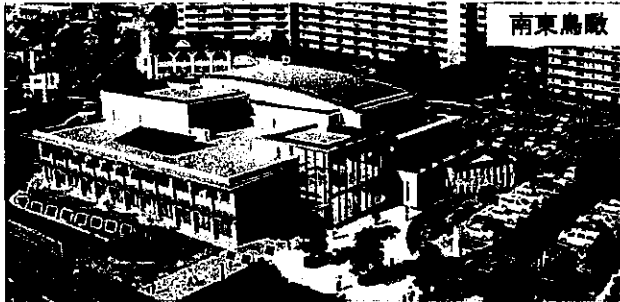
(2) 分館の名称

他の地域交流センター内図書館分館と同様に, 地域交流センターの名称にあわせて「福岡市早良南図書館」とする。

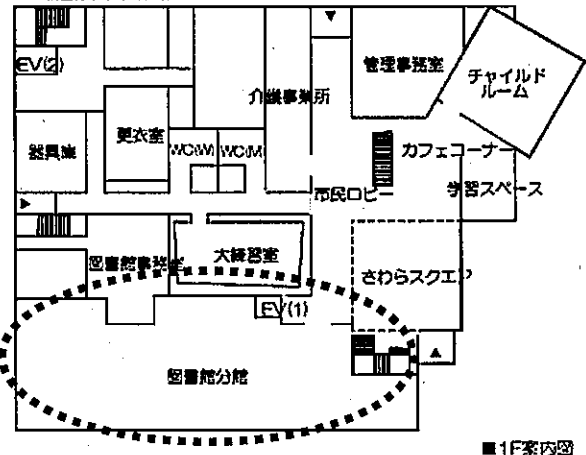
(3) 蔵書数

約 6万冊

〈外観イメージ〉



〈施設平面図〉



3 早良南図書館の運営方法について

(1) 運営方法

行政運営プラン及び総合図書館新ビジョン後期事業計画にもとづき、指定管理者で運営している東図書館の成果等を指定管理者選定・評価委員会で検証した結果、各種企画や窓口業務、利用者対応などで総合的に高い評価を得ており、引き続き指定管理者制度を導入するに値するものであった。

また、このことを踏まえ、新設の早良南図書館についても、運営のノウハウを持つ民間事業者であれば運営は可能と考えられるため、指定管理者制度を導入するものとする。

[早良南図書館における指定管理者の業務（案）]

図書サービス業務（貸出返却、排架、整理、利用案内等）、読書普及事業等

(2) 開館時間及び休館日（案）

図書館名	年末年始・図書特別整理期間以外の 休館日	開館 時間	閉館 時間
早良南図書館	・毎月最終月曜日（その日が休日に当たるときは、その日後において最初の休日でない日）	9時	20時

<参考>

東図書館	・毎月最終月曜日（その日が休日に当たるときは、その日後において最初の休日でない日）	9時	20時
その他の分館 （東図書館を 除く。）	・毎週月曜日（その日が休日に当たるときは、その日後において最初の休日でない日） ・毎月末日（その日が日曜日、月曜日、土曜日又は休日に当たるときは、その日後において最初の日曜日、月曜日、土曜日及び休日でない日）	10時	18時

4 スケジュール（案）

令和2年度 指定管理者の公募（早良南、東、総合（施設管理））

指定管理者指定議案提出

令和3年度 指定管理者による運営開始

令和2年度予算及び機構について

報告

1 令和2年度予算

(単位:千円)

歳出	歳入内訳		
	特定財源		一般財源
	地方債	その他	
1,952,126	342,000	68,049	1,542,077

歳出内訳

事 項	令和2年度	令和1年度	増減	参考 平成30年度(決算)
1 給与費等	334,110	279,224	54,886	280,861
2 管理運営費	766,341	768,579	△ 2,238	706,870
一般管理費	183,418	157,464	25,954	99,325
施設管理費	246,500	250,091	△ 3,591	248,856
分館運営費	326,536	347,255	△ 20,719	343,618
映像機器の更新	2,574	2,679	△ 105	2,879
学校図書館支援センター運営費	7,313	11,090	△ 3,777	12,191
3 主催事業費	4,397	1,631	2,766	2,241
講座等経費	808	736	72	740
映像企画事業等経費	701	778	△ 77	864
アジア映画等貸与事業	1,691	-	1,691	-
図書館外施設でのアジア映画上映	0	117	△ 117	287
子ども読書活動の推進	1,197	-	1,197	-
図書館地区別研修	-	-	-	350
4 資料収集経費	150,749	186,551	△ 35,802	158,520
図書購入費	83,782	114,761	△ 30,979	86,158
映像資料購入費	-	1,448	△ 1,448	1,601
図書整理費	23,904	31,553	△ 7,649	29,350
文書資料整理等経費	28,401	28,411	△ 10	30,616
映像資料収集保存等経費	14,662	10,378	4,284	10,795
5 図書利用サービス費	178,457	165,724	12,733	167,086
一般利用サービス費	166,472	158,241	8,231	164,081
団体貸出運営費	11,985	7,483	4,502	2,187
こども図書館運営費	-	-	-	818
6 国連寄託図書館経費	4,485	4,557	△ 72	4,350
国連寄託図書館運営費	4,485	4,557	△ 72	4,350
7 文学館費	12,512	13,566	△ 1,054	11,752
文学館管理運営費	10,817	11,871	△ 1,054	9,747
文学館事業費	1,695	1,695	0	2,005
8 施設整備費	501,075	190,077	310,998	188,431
総合図書館施設整備費	401,905	190,077	211,828	188,431
南図書館整備事業	12,718	-	12,718	-
早良南図書館開設準備	86,452	-	86,452	-
合 計	1,952,126	1,609,909	342,217	1,520,111

2 機構
令和2年度

	人員	内 訳	
		職員数	会計年度任用職員数
総 館 長	1	(1)	0
館 長 (事業管理部長事務代理)	0	0	0
事業管理部長	1	1	0
├── 運 営 課			
├── 運 営 課 長	1	1	0
├── 運 営 係	4	3	1
└── 企 画 係	4	3	1
├── 図書サービス課			
├── 図書サービス課長	1	1	0
├── 管 理 調 整 係	5	3	2
├── 読 書 活 動 支 援 係	12	[1] 4	7
├── 図 書 資 料 係	26	3	23
├── 東 図 書 館	0	0	0
├── 和 白 図 書 館	7	[1] 0	6
├── 博 多 図 書 館	7	[1] 0	6
├── 博 多 南 央 図 書 館	7	[1] 0	6
├── 中 央 図 書 館	8	[1] 0	7
├── 南 央 図 書 館	7	[1] 0	6
├── 城 南 図 書 館	8	[1] 0	7
├── 早 良 図 書 館	7	[1] 0	6
├── 西 部 図 書 館	7	[1] 0	6
└── 西 部 図 書 館	7	[1] 0	6
├── <u>文学・映像課</u>			
├── 文学・映像課長	1	1	0
├── 文学・文書係	10	5	5
├── 古 文 書 係	7	3	4
├── 映 像 資 料 係	4	2	2
└── <u>映 像 活 用 係</u>	2	1	1
合 計	144	31	102

()は非常勤特別職で外数
[]は短時間再任用職員で外数

※アンダーラインは令和1年度からの変更箇所

令和1年度

	人員	内 訳	
		職員数	嘱託員数
館 長	1	0	1
副 館 長 (事業管理部長事務代理)	0	0	0
事業管理部長	1	1	0
├── 運 営 課			
├── 運 営 課 長	1	1	0
├── 運 営 係	4	3	1
└── 企 画 係	3	2	1
├── 図書サービス課			
├── 図書サービス課長	1	1	0
├── 管 理 調 整 係	3	3	0
├── 読 書 活 動 支 援 係	12	4	8
├── 図 書 資 料 係	26	3	23
├── 東 図 書 館	0	0	0
├── 和 白 図 書 館	7	0	7
├── 博 多 図 書 館	7	0	7
├── 博 多 南 央 図 書 館	7	0	7
├── 中 央 図 書 館	7	0	7
├── 南 央 図 書 館	7	0	7
├── 城 南 図 書 館	8	0	8
├── 早 良 図 書 館	7	0	7
├── 西 部 図 書 館	8	0	8
└── 西 部 図 書 館	7	0	7
├── 文学・文書課			
├── 文学・文書課長	1	1	0
├── 文学・文書係	9	5	4
└── 古 文 書 係	7	3	4
├── 映像資料課			
├── 映像資料課長	1	1	0
├── 映 像 資 料 係	2	2	0
└── 映 像 企 画 係	3	1	2
合 計	140	31	109

福岡市総合図書館運営審議会委員名簿

任期：平成30年7月9日から令和2年7月8日まで

委嘱区分	氏名	役職名
学校教育 関係者 3名	西川 秋生	福岡市立香椎浜小学校校長
	濱地 保季	福岡市立金武中学校校長
	渡邊 由紀子	九州大学附属図書館 学術サポート課長
社会教育 関係者 3名	国広 奈穂子	福岡市七区男女共同参画 協議会代表
	萩尾 憲子	福岡市公民館館長会副会長
	上村 篤子	福岡市社会教育委員
家庭教育 関係者 1名	西村 早苗	福岡市PTA協議会会長
読書活動団体 関係者 1名	香川 純子	福岡おはなしの会代表
学識経験者 4名	高橋 昇	九州女子大学名誉教授
	白根 恵子	佐賀女子短期大学教授
	脇川 郁也	詩人，総合文芸誌「季刊 午前」編集委員
	黒岩 俊哉	九州産業大学教授
本市の住民 2名	青沼 美撫子	公募委員
	桐 研次郎	公募委員

計14名

令和元年度 第2回 福岡市総合図書館運営審議会 座席表

会 長
高橋昇委員

西川秋生委員
渡邊由紀子委員
国広奈穂子委員
西村早苗委員
香川純子委員

白根恵子委員
脇川郁也委員
黒岩俊哉委員
青沼美撫子委員
桐研次郎委員

傍聴席
傍聴席
傍聴席

--	--	--

八尋課長
(映像資料課)

小森課長
(文学・文書課)

松本館長

内藤事業管理部長

若山課長
(運営課)

宮川課長
(図書サービス課)

係長席	係長席	係長席	係長席
-----	-----	-----	-----

出入口